

平成 24 年度に実施した選択的評価事項に係る評価に関する検証結果報告書の概要 (高等専門学校)

選択的評価事項に係る評価の有効性や適切性について検証し、評価内容・方法等の改善に役立てることを目的に、平成24年度に実施した選択的評価事項に係る評価について、対象校及び評価担当者へのアンケートを実施。

◇選択的評価事項に係る評価（高等専門学校）

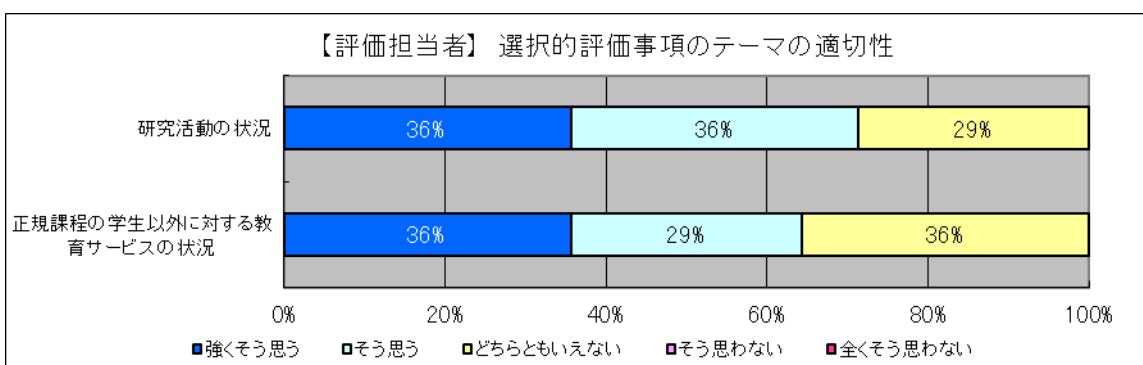
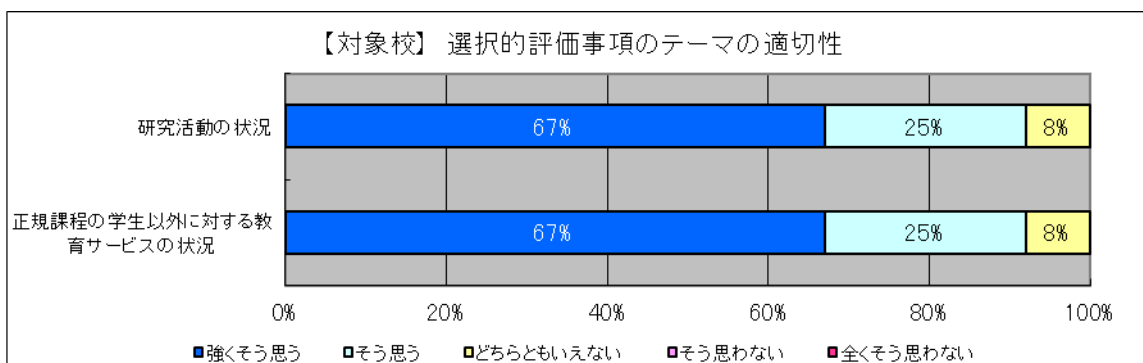
対象校12校（高等専門学校12校）すべてから回答

評価担当者（部会構成員）16名中14名から回答(回収率88%)

検証結果の概要

選択的評価事項及び観点について

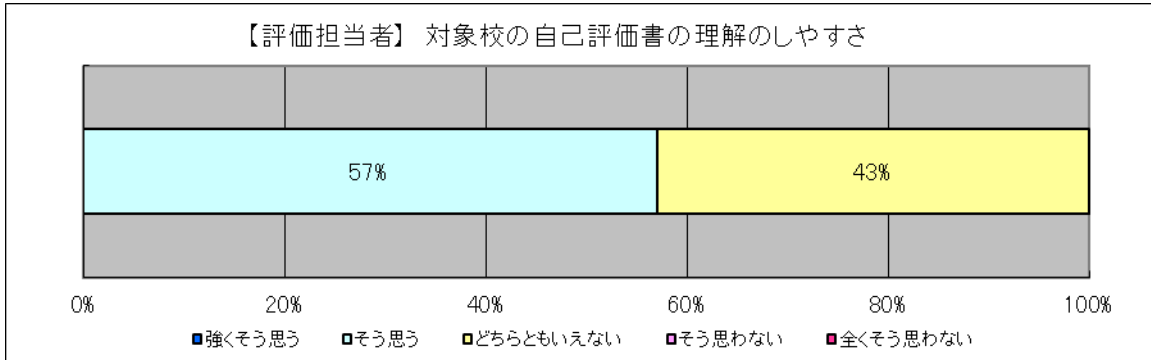
設定された選択的評価事項のテーマ「研究活動の状況」「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」、対象校が有する目的の達成状況の判断を示すという評価方法についてはおおむね適切なものと考えられる。



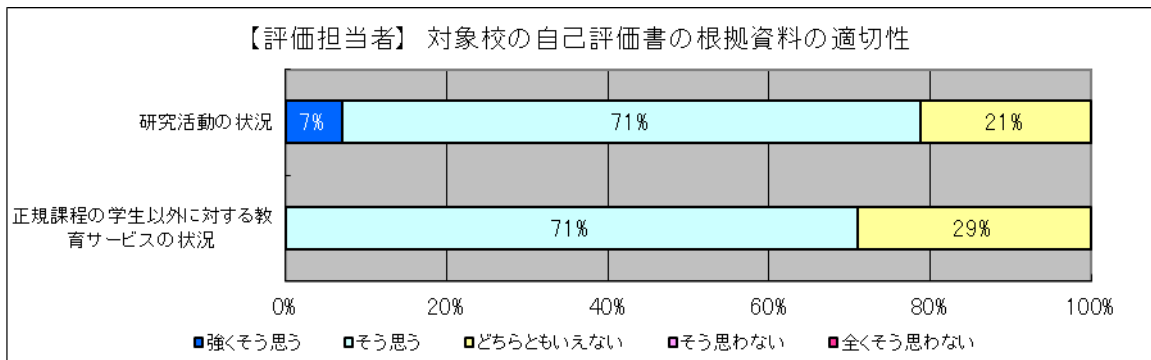
※ 回答率については、小数点以下四捨五入のため合計が100%にならないものもある

自己評価書について

自己評価書の理解しやすさについては、評価担当者からおおむね肯定的に評価されている。

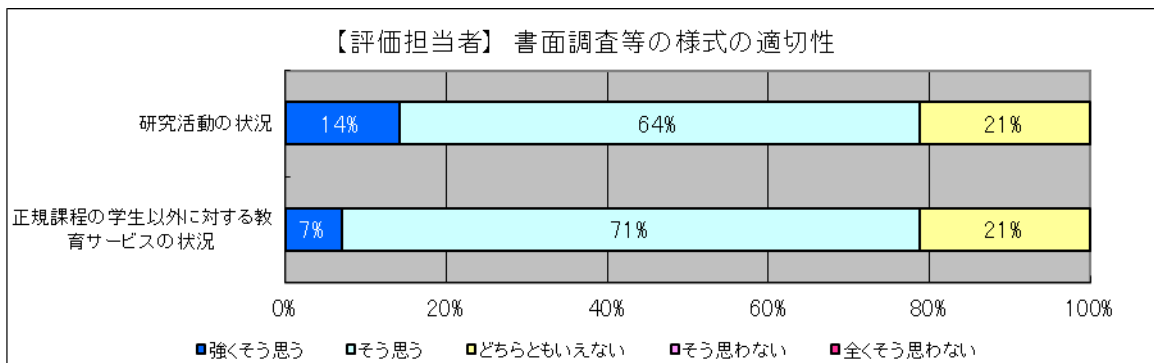
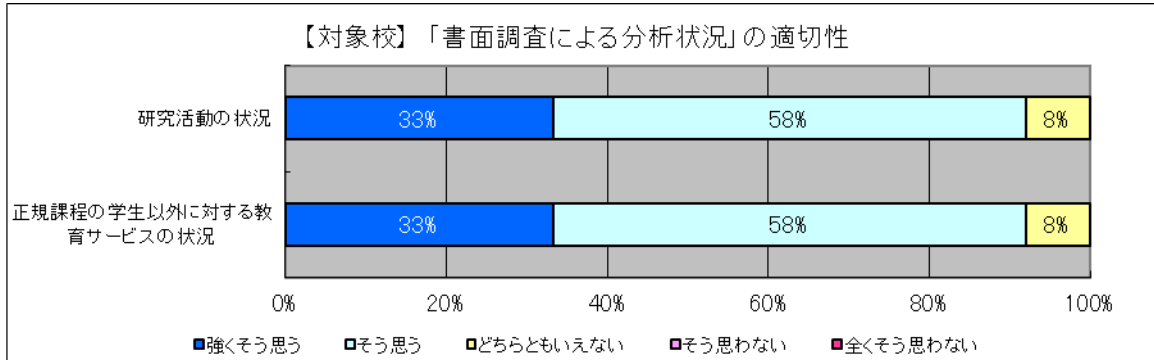


自己評価書の添付資料については、おおむね適切な根拠資料が添付されていると考えられる。

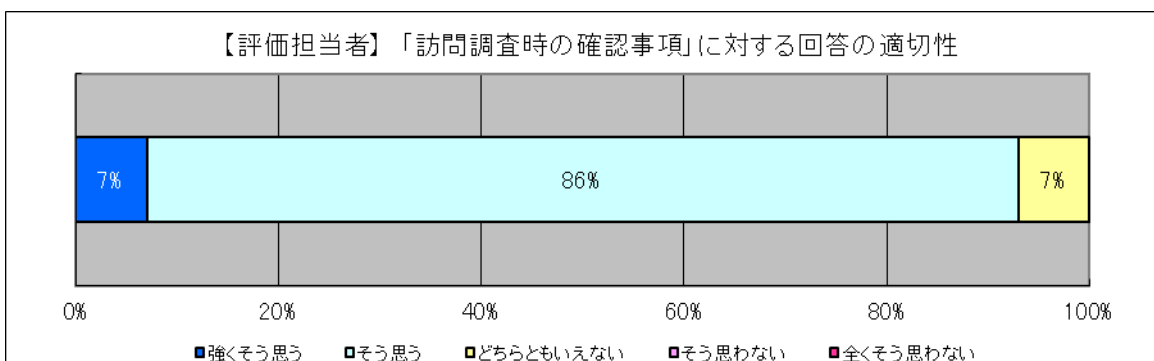
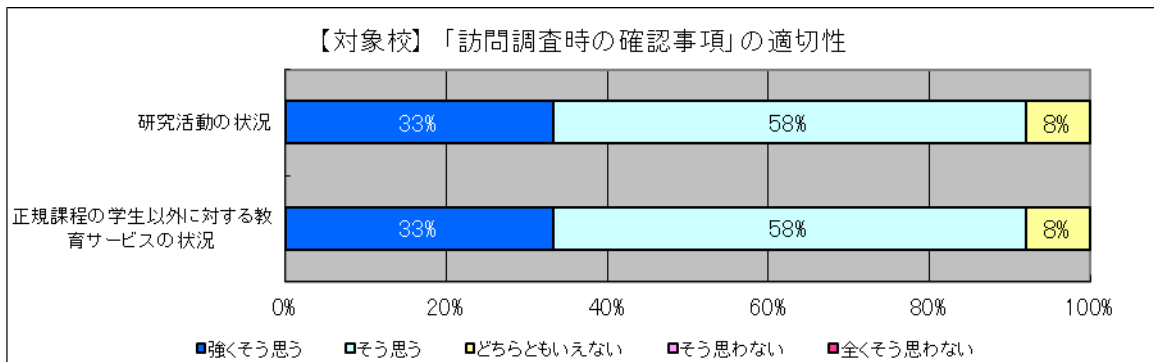


書面調査・訪問調査について

「書面調査による分析状況」の内容や書面調査票等の様式はおおむね適切であると考えられる。

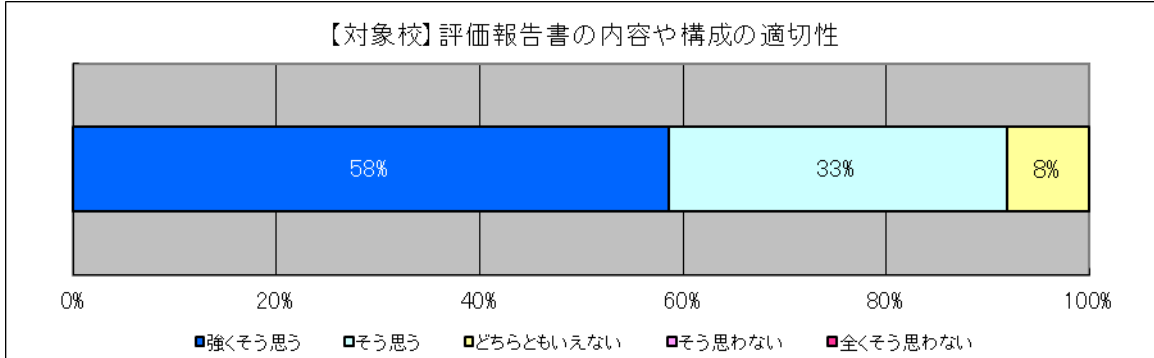


「訪問調査時の確認事項」の内容及びそれに対する回答は適切であると考えられる。



評価結果（評価報告書）について

評価報告書の内容や構成については適切であると考えられる。



評価報告書の内容については、評価担当者の意見が反映されており、適切であると考えられる。

